

1996年アカデミー賞最優秀外国語映画賞
1995年オランダ映画祭最優秀監督賞・最優秀女優賞
ハンプトン国際映画祭最優秀監督賞
シカゴ国際映画祭最優秀脚本賞
ジェノバ国際映画祭審査員特別賞

マルレーン・ゴリス監督作品

オランダ=ベルギー=イギリス合作/
1995年/カラー

アントニア

ANTONIA

世界の名画を見る会Vol.7

(企画・構成 高野悦子)

●講演●

「映像で女性が輝くとき」

大竹洋子 (東京国際映画祭
女性映画週間ディレクター)

●上映作品●

「アントニア」 (オランダ・ベルギー・イギリス合作)

ゲスト:高野悦子(予定)

'98 4月19日 日

開場13:00

開演14:00

黒部市国際文化センター **コラーレ** 入場料/1,200円(全席自由)
(カーターホール) 当日1,500円

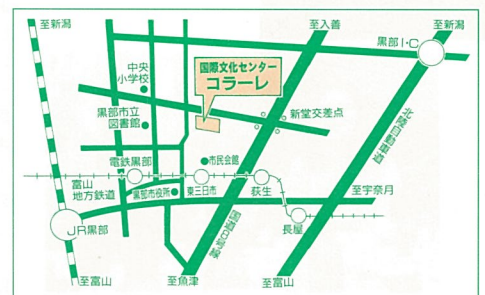
※5歳未満のお子さまの入場はご遠慮願います。
一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。

主催 財団法人黒部市国際文化センター 共催 北日本放送 後援 黒部市・黒部市教育委員会

■ お問い合わせ
財団法人黒部市国際文化センター
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207

■ プレイガイド

黒部	コラーレ	☎(0765)57-1201
	メルシー	☎(0765)54-2221
	ロイヤルバリー黒部	☎(0765)54-1000
魚津	新川文化ホール	☎(0765)23-1123
	魚津サンプラザ	☎(0765)24-3030
入善	コスモホール	☎(0765)72-1105
	コスモ21	☎(0765)74-9100
朝日	アスカ	☎(0765)82-2000
宇奈月	セレネ	☎(0765)62-2000
富山	インフォマート	
	[市民プラザ]	☎(0764)91-0110
	[CiC 駅前店]	☎(0764)44-7013
	北日本新聞社	☎(0764)45-3300
	富山県民会館	☎(0764)32-3111



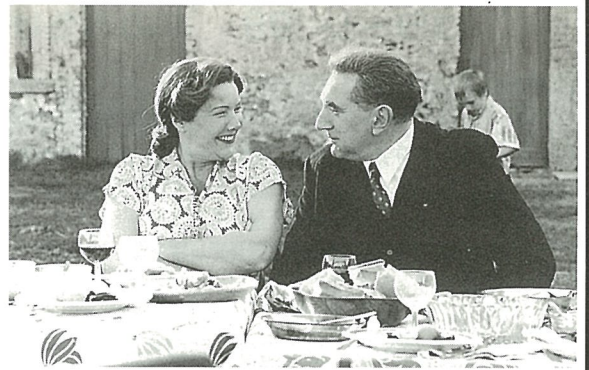


96年アカデミー賞最優秀外国語映画賞受賞

アントニア

ANTONIA

トロント映画祭 最優秀作品賞/オランダ映画祭 最優秀監督賞・最優秀女優賞
 ハンプトン国際映画祭 最優秀監督賞/シカゴ国際映画祭 最優秀脚本賞/ジェノバ国際映画祭審査員特別賞
 監督:マルレーン・ゴリス/主演:ヴィレケ・ファン・アメローイ/エリス・ドッターマンス/配給:エース ビクチャーズ
 オランダ語映画/上映時間:1時間43分



美しく魔法のような家族の年代記

(ロサンゼルス・タイムズ紙評)

戦後まもない頃のオランダ。古い因習の残る村に、アントニアは娘のダニエラをつれて帰ってきた。アントニアは母の最期を取った後、ダニエラと村で生活を始める。大地を耕し、種をまく日々。アントニアは村人から「放蕩娘のご帰還」とからかわれても気にすることなく、太陽のようにあたたかく人々をむかえ入れた。彼女を慕ってさまざまな人がやってくる。5人の息子をかかえるやもめの農夫バス。彼はアントニアに求婚するが「私は夫も息子もいないわ」とかわされる。しかしその後、彼はアントニアにとってかけがえのない人生のパートナーとなる。他に「ウスノロ」と呼ばれる青年に、兄にレイブされた少女、真理を求めて哲学にふける人間嫌いの男、妊娠すること一番の喜びを覚える少女、教会を飛び出した愉快な神父……。村は変わってゆく。悲しみもあるが喜びもある。愛がつぎつぎと芽生えて、新しい生命が生まれ育つ。ダニエラに娘テレーズが生まれ、やがて成長したテレーズにも娘サラが生まれる。豊かな収穫をかこむアントニアの大きな食卓には人々が集い、笑いがたえない。大地の上で、誕生と死は環のようにめぐり、生の営みは続く。まるでダンスのように――。



力強く心あたたまる寓話!

(ヴァリエティ誌評)

映画「アントニア」は、アントニアから始まる4世代の女性たちがつくりあげた豊饒な世界を、魔法のように自由なイメージで描いた傑作である。アントニアは「人生は生きるためにあるのよ」と語る。この作品は人が生きるということ、移りかわる四季の中でおおらかにやさしく見つめている。アントニアのまわりには新しい仲間が加わり、友情や恋愛が生まれ、血縁にとらわれない家族の絆が広がってゆく。愛を交歓する人々の自由な関係――。子どもたちはその中で絵や音楽、哲学に豊かな才能を見いだしてゆく。アントニアの大きな愛情でつまれたこの村の人々は、それぞれに生まれながらの輝きをとりもどしてゆく。彼らは人々をあるがままに受け入れて、夫婦、親子、男らしさ、女らしさといった役割をかるやかに飛び越える。大地のような包容力を持つ母アントニアは、宇宙の摂理をつかさどる古代の女神のようだ。「アントニア」はお伽噺を思わせる寓話的な手法をとりながら、新しい世界のあり方を語っている。



女性監督マルレーン・ゴリスの傑作!

「アントニア」は、世界の映画人を新鮮な感動でつづみ、アメリカ・アカデミー賞の最優秀外国語映画賞をはじめ、各国の映画祭で多くの賞を受賞した。監督のマルレーン・ゴリスはオランダを代表する女性監督である。1982年に『沈黙の質問』(日本未公開)で監督デビューし、「アントニア」が長編4作目になる。現代に生きる人間の問題、とりわけ女性の問題を、時にユーモラスに、時にシニカルに描いてヨーロッパで高く評価されてきた。この作品の国際的大成功の後に、イギリスの作家ヴァージニア・ウルフの代表作『ダロウエイ夫人』を、主役にヴァネッサ・レッドグレイブを起用し完成させようとしている。魅力あふれるアントニアを見事に演じるのはヴィレケ・ファン・アメローイである。彼女はオランダで最も有名な女優であり、自ら監督・脚本も手がけている。

